

「第3回アドバイザー会議」における評価区分及び評価内容

調書番号： 6 事業名：ジュエリーミュージアム事業費

アドバイザー		評価内容
村上アドバイザー	「要改善」	<ul style="list-style-type: none"> ・宝石美術専門学校の附属施設であるが、卒業生は、ほぼジュエリー業界に就職しており、県内への就職も多いことから、ジュエリーミュージアムを学生の発表の場や、職人とのふれあいの場として用途を広げ、伝統技術の継承や、人材育成につなげて欲しい。 ・一般の入館者にとっては、展示物の見学より、職人の実演や体験工房の方に関心があると思う。現在、実演及び体験は土、日、祝日のみの開催であり、職人の数に限りがあるということであるが、体験や実演をもう少し実施していただきたい。そのためには、ミュージアムに来ていただくことが大切であるため、まずはPR活動に取り組むことが先かもしれない。 ・組合との連携により事業が行われているが、広報や企画等の担当は県であるため、受益者が特定の会社や人に偏らないよう、常に配慮をしながら、事業の継続を進めていただきたいと思う。
小口アドバイザー	「要改善」	<ul style="list-style-type: none"> ・来館者も年々増えており、専門学校生に対しての、技術伝承プログラムも充実してきている。人材育成と認知度の更なる向上に向け努力していただきたく、要改善とした。具体的に4つ申し上げる。 ・1点目であるが、ジュエリー業界に関心を持つ人を増やす、あるいは、人材を確保するという意味から、小中学校における授業への取り組みに力を入れ、目標を持って動いていただきたい。そのために、学校に出向いていただきたい。 ・2点目は、宝石美術専門学校の学生の技術習得が大きな目的になっているので、職人による授業を一段と拡充する方向に進めていただきたい。 ・3点目は、このミュージアムは通常の宝石の展示室とは違い、強みは実演にあるため、実演日を平日まで拡大し、生徒や県外の来館者にも幅広くアピールできる工夫をしていただきたい。

小澤アドバイザー	「要改善」	<ul style="list-style-type: none">・4点目は、職人には今後も、一層活躍していただかないとならない。職人に敬意を払うという意味でも、派遣単価が安いと感じるため、派遣単価アップにも取り組んでいただきたい。財源としては、年々売り上げが順調に上がっているショップの売り上げの収益の一部を充当するという考え方もあるので、検討していただきたい。・宝石美術専門学校生や県民を対象としての県の地場産業でもある宝飾加工技術の継承、人材育成につながっているのか疑問である。・国内外の観光客に向けてのアピールや情報発信が更に必要ではないかと思う。・甲府市のお祭り等と連携し、中心地の活性化にもつなげているようであるが、県庁の敷地内にあるため、県民が気軽に立ち寄りにくい傾向がある。どのような展示が必要なのか、どのような広報が必要なのか、考えるべきである。・若い人たちにジュエリーをもっと知ってもらう必要があると考える。
----------	-------	---